

物忘れもわすれて

久里浜医療センター
診療放射線技師長
關 本 宏 二

以前は、交通系のICカードは、使用できる範囲が狭かったので、出先では鉄道の切符を買わなければなりません。最近、交通系のICカードが多く地域で共通して使用できるようになりましたので切符売り場で財布を出す手間がなく、また切符をなくすということもなくなり、本当に楽になりました。でも、もっと以前、カードが出来る前は、しょっちゅう切符を探していたことを思い出しました。先日また切符をしまい忘れてしまったのです。

東海道新幹線で東京に帰る時でした。乗車前には指定列車の時間変更という手間もかけたのに、改札を抜けて列車に乗り込むときには切符がなく、指定席を見つけられません。しかたがないので自由席に座って探しましたがやっぱり見つかりません。東海道新幹線は車掌が切符の検閲に来ますので、さらに探しましたが結局見つかりませんでした。車掌には切符を紛失したことを伝えました。ちなみに領収証は持っていましたがそんなものは役に立ちません。

東京駅に着くと、切符売り場まで案内され（これを「身柄確保」というのかはわかりません）「紛失再」と印の押された、乗車した駅から東京都区内行きの切符を購入することになりました。新幹線の東京着の乗車券は東京都区内という記載で、山手線などはそれで乗れますが、この切符は使用しないよう注意されます。なぜなら紛失した切符が見つかった場合、今回購入した「紛失再」印付きの切符と、もともとの切符を併せて持参すると払い戻してくれるからです。もっとも「切符をなくされた場合のお取

り扱いのご案内」という紙を、切符にホチキスで留めてくれるので自動改札を通すことはできません。行き先までの乗車券は購入した切符とは別に渡してくれました。

後日なくした切符が見つかりましたので品川駅のJR東日本の窓口に行きましたが、「JR東海の窓口に行ってください」と案内され、少し離れた窓口で払い戻してもらいました。手数料は乗車券分と特急券分220円ずつで合計440円。またカードで購入したものはカードに返金ということでカードの提出が必要でした。

JRの皆さん、ご迷惑をお掛けしました。でも、一つ勉強になりました。

新幹線で切符をなくしたら、列車の降り口から切符売り場まで丁寧に案内してくれて、お金を払った後は見送ってもらえます。

久里浜医療センターは、アルコール症の患者さんが見えますし、最近ではネット依存、ギャンブル依存も外来がありますが、認知症外来があり、物忘れが気になる方がお見えになります。僕もその方々の検査をしているのですが、「僕のほうがひどいかな？」と思う方もたくさんお見えになります。認知機能検査に100から順に7を繰り返してひくという引き算がありますが、僕はとっても苦手で、初めて見た時から3年たった今でも出来る自信がありません。でも、僕はずっと前から物覚えが悪いので物忘れも気にせず、むしろ物忘れも原稿のネタにして、前向きに行こうと思います。